

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00290375

2024年6月28日

| | |
|-----|--|
| 発信課 | 環境部クリーンセンターごみ相談係 |
| 担当者 | 佐々木 陽平 |
| 連絡先 | 電 話 36-2213 |
| | F A X 36-4239 |
| | E-mail seisouoffice@city.asahikawa.lg.jp |

| | |
|---------------------------------------|---|
| 分 類 | イベント・行事 [] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 [○] |
| 日 程 | 令和6年6月28日 ~ |
| 発表項目 (行事名) | 旭川市と株式会社マーケットエンタープライズとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定 |
| 概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。) | 旭川市は、リユース（再利用）活動の促進に向け、株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結いたしました。 詳細につきましては添付資料を御参照ください。 |
| 添付資料 | 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> |
| 報道（取材）に当 たってのお願い | |
| 備 考 | |

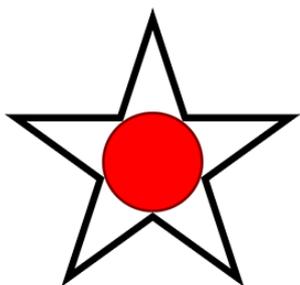


報道関係者各位

2024年6月28日
北海道旭川市
株式会社マーケットエンタープライズ

6月は環境月間 旭川市が 不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始 ～新施策導入によるリユース促進で廃棄物削減へ～

北海道旭川市(市長:今津 寛介)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2024年6月28日(金)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、旭川市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

旭川市では、粗大ごみとして廃棄されたものの中から再利用が可能なものを選び、年に数回イベントを実施し、市民に自転車や家具等を再利用品として提供するなど、リユース促進に精力的に取り組んでおります。しかしながら、まだまだ活用できるものがごみとして多く廃棄されており、市では、リユース促進につながる新たな施策導入の可能性を模索しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、旭川市がマーケットエンタープライズに働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 120 万人(2024 年 1 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■旭川市の課題と「おいくら」による解決策

旭川市では、粗大ごみの戸別収集を行なっておりますが、大型品や重量のあるものでも、原則、市民が自宅の外へ運び出す必要があります。また、粗大ごみの収集には、配車やルート作成に多くの時間や職員を要するため、業務の効率化が検討されてきました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになり、不要品回収時の市職員の負担もありません。加えて、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取が可能で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、「おいくら」は市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、旭川市の費用負担もありません。

■今後について

6 月 28 日(金)14 時 30 分(公開時間が前後する可能性があります)に旭川市ホームページ内

(<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/271/272/273/p005894.html>)

へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。旭川市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■北海道旭川市

旭川市は、北海道の中央・上川地方のほぼ中央に位置しています。雄大な大雪山連峰に抱かれ、石狩川と多くの支流が合流し、肥沃な盆地が広がっています。古くからのアイヌの人々の営みと開拓の歴史によって、今日の旭川の基礎が築かれました。以来、交通の要衝・物流の集積地として発展し、現在は、札幌市に次ぐ北海道第2の人口を有し、北北海道の拠点都市として、医療福祉施設・教育施設・文化施設・公的機関などの都市機能が充実しています。また、産業では、我が国の食糧供給に重要な役割を担う稲作などの農業や、食料品、紙パルプなどの製造業、旭川家具をはじめとした木工、機械金属などのものづくり産業が集積しているほか、北北海道の交通・物流の拠点として、卸・小売業、サービス業などが発展しています。近年は、航空路線の充実により、外国人観光客が増加しており、全国的に知られる旭山動物園や雪質が良いスキー場などに、国内外から年間500万人を超える観光客が訪れています

人口:317,971人(男147,288人、女170,683人)(2024年6月1日)

世帯数:177,606世帯(2024年6月1日)

面積:747.66平方キロメートル

ウェブサイト:<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ720万人を達成しました。旭川市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で142にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト:<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト:<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

旭川市に関すること

旭川市 環境部 クリーンセンター

担当:佐々木

Tel:0166-36-2213 Mail:seisouoffice@city.asahikawa.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR担当:立花

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp